

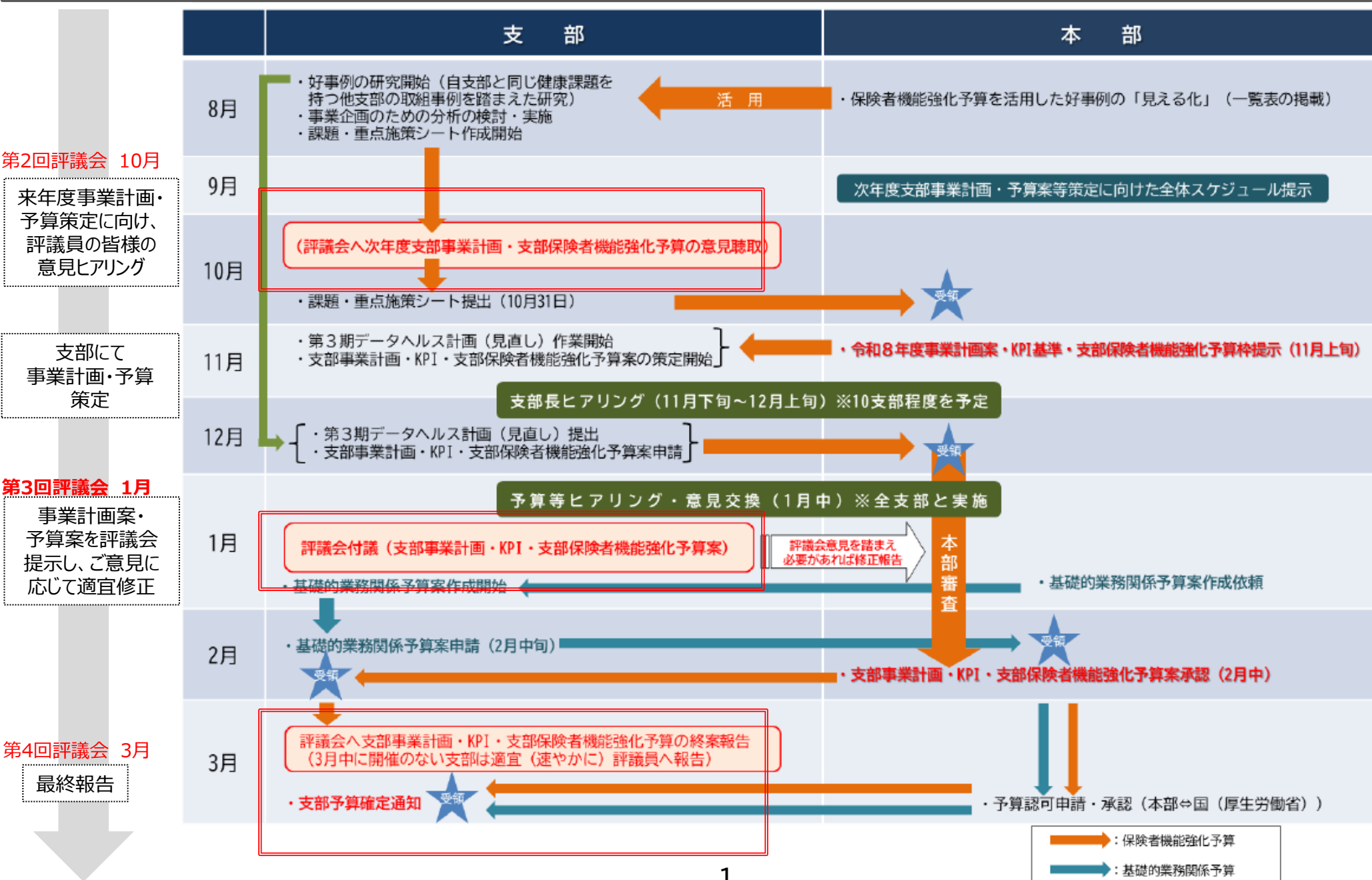
【議 題 3】

令和8年度 福島支部保険者機能強化予算(案)

ご審議・ご意見いただきたい事項

このたび、本部へ提出しました予算案について、令和8年度福島支部の事業計画（案）（資料3-1）と照らし合わせてご意見等をいただきたいと存じます。

令和 8 年度 支部事業計画・予算策定に関する全体スケジュール



保険者機能強化予算とは

支部保険者機能強化予算とは

協会けんぽの将来的な医療費の削減につなげていくことを目的に、各支部で地域の実情に応じた医療費適正化（医療費の伸びの抑制）や健康づくりなど、保険者としての機能を強化する取り組みを実施するために計上する経費のこと

支部保険者機能強化予算の位置づけと予算枠／要求額

支部事業計画

①支部保険者機能強化予算

A:医療費適正化等予算

・医療費適正化対策経費

・広報・意見発信経費

通常枠

特別枠※

予算枠

要求

予算枠

要求

14,588千円

14,581千円

3,600千円

なし

B：支部保健事業予算

・健診経費

・保健指導経費

・重症化予防事業経費

・コラボヘルス事業経費

・その他の経費

通常枠

特別枠※

予算枠

要求

予算枠

要求

67,892千円

67,891千円

16,790千円

3,245千円

※特別枠・・・エビデンスを踏まえた自支部の課題解決に向けた取組に対し、「通常枠」に追加して予算措置。

年度ごとに最も力を入れる周知テーマを決め、その広報にかかる費用を「最重点広報経費」として予算措置

②支部最重点広報経費

テーマ

予算枠

要求

①「令和9年度保険料率改定」

2,600千円

2,387千円

②「健診体系の見直し」
(現役世代への健診事業の拡充)

2,600千円

2,519千円

③健診保険制度の意義や協会の役割等への共感が広がる環境づくり役割等

2,600千円

2,519千円

④電子申請・けんぽアプリの利用促進

777千円

319千円

要求額 内訳 【①ーA:医療費適正化等予算】

(千円)

区分		事業名・取組概要	令和8年度 支部要求案	(参考) 令和7年度	備考 (増減要因など)
医療費適正化等予算	通常枠	新規【健康イベントへのブース出展を通じた医療費適正化の働きかけ】 健康度測定器を用いたブース出展を行う。 また、「上手な医療のかかり方」「福島県の健康課題」「健診受診勧奨」などに関する広報としてオリジナルポケットティッシュを作成・配布し、健康課題の認知度向上、医療費適正化の働きかけを行う。	228	-	
		新規【禁煙、排塩促進ポスター・ステッカーの作成】 加入事業所での禁煙・排塩の意識向上を図るため、喫煙や塩分の多い食生活における健康被害が伝わるポスターとステッカーを作成し、健康事業所・宣言事業所へ送付するもの。	2,158	-	
		医療費適正化対策経費 計	2,386	-	
		【納入告知書同封チラシ】 すべての事業所に対し、日本年金機構から毎月発送される納入告知書にチラシを同封することで、協会けんぽからの広報・意見発信を行うもの。	3,312	2,981	
		【マスメディアを活用した事業の周知広報】 「重症化予防」「ポピュレーションアプローチ」を中心に健康づくりサイクルについて、新聞広告および県内全域をカバーする情報誌を活用し、事業主および加入者へ直接周知することで意識向上を図る。	5,561	7,802	最重点広報テーマが、R7の2つから4つに増え、別途予算措置となったため、内容を振り分けて実施。
		【自治体の広報媒体を活用した事業の周知広報】 自治体が発行する広報誌や封筒広告を活用し、その地域の健康課題に合わせた内容の広告を掲載する。	506	484	
		【福島支部の健康課題に関するWeb広告等の制作・配信業務】 喫煙や特定健診の受診など意識啓蒙に関する動画を作成し、動画内容に合わせて配信地域・性別・年代を指定し、Youtube、Tver、Yahoo!広告を活用し、配信を行う。	2,816	3,295	駅前のビジョン広告、シネアド広告を廃止
		広報・意見発信 計	12,195	14,562	
		医療費適正化等予算（通常枠） 合計	14,581	14,562	

要求額 内訳 【①－B：保健事業予算】

(千円)

区分		事業名・取組概要	令和8年度 支部要求案	(参考) 令和7年度	備考 (増減要因など)
保健事業経費予算	通常枠	①健診実施機関実地指導旅費（健診機関を訪問し、事務の実地確認・指導）	180	220	
		②事業者健診の結果データの取得（外部委託による事業所への勧奨・紙媒体データ化）	15,600	9,045	40歳未満のデータ取得拡大のため、外部委託件数の拡大
		③協会主催の集団健診（被扶養者を対象とした出張0円健診の勧奨ダイレクトメール作成・会場使用料）	10,316	7,946	出張0円健診の回数拡大（健診会場の見直し）
		④健診受診勧奨等経費 （健診の年次案内、健診機関不足地域での被保険者を対象とした健診の開催・勧奨等）	4,961	5,649	・被扶養者の案内を③に集約 ・健診機関不足地域での健診会場の見直し
		健診経費 計	31,057	22,860	
		廃止 ⑤中間評価時の血液検査費（保健指導の継続支援中での血液検査費用）	－	4,026	本部通知により全支部で廃止
		⑥顧問医師への謝金	154	154	
		⑦保健指導用データ等送料（在宅保健師との書類受け渡しの送料）	1,000	1,325	
		⑧保健指導用パンフレット作成等経費	77	132	
		⑨保健指導用事務用品費（血圧計などの測定機器の購入）	143	306	
		⑩保健指導用図書購入費	148	148	
		⑪公民館等における特定保健指導（会場使用料）	77	230	
		⑫保健指導利用勧奨経費（保健指導実施機関による健診当日の保健指導の推進）	907	1,179	
		廃止 ⑬保健指導利用勧奨経費（保健指導対象者等の自発的取り組みを促す情報発信）	－	886	個人への情報発信から事業所への働きかけに見直し
		⑭保健指導利用勧奨経費（健診機関早期勧奨・検診車遠隔面談）	801	1,312	健診機関への働きかけを拡大
		保健指導経費 計	3,307	9,697	

事業名・取組概要		令和 8 年度 支部要求案	(参考) 令和 7 年度	備考 (増減要因など)
通常枠	⑮未治療者に対する受診勧奨（未治療者受診勧奨に係る勧奨媒体の作成及び配布）	541	688	
	⑯外部委託を活用した受診勧奨 （本部から医療機関を受診を促す一次文書勧奨発送後、支部から再度文書にて受診勧奨。 その後、事業所へ事前通知のうえ、電話勧奨を実施）	14,099	570	個人あての文書勧奨に加え、 事業所への電話前通知および 電話勧奨を拡大（文書勧奨 にはCKD予備群を含む）
	⑰糖尿病性腎症患者の重症化予防対策（慢性腎臓病（CKD）予備群に対する受診勧奨）	1,302	5,926	
	重症化予防対策 計	15,942	7,184	
	⑱「健康事業所宣言」事業の取組支援 1（勧奨媒体・各種案内物の作成）	1,888	3,753	
	⑲「健康事業所宣言」事業の取組支援 2（ふくしま健康経営優良事業所／取組事例取材／取組状況の確認）	1,760		
	廃止 ㊳「健康事業所宣言」事業の取組支援―（事業所での健康づくりのヒント集の作成）―	－	2,035	R7予算で今後使用する 数年分を一括調達済
	㊴「健康事業所宣言」事業の取組支援 ③ 3 出前講座／健康度測定器の貸出）	8,392	13,032	健康測定器の貸出 件数見直し（縮小）
	廃止 ㊵宣言事業所数の拡充	－	794	
	㊶情報提供ツール（「事業所健康度カルテ」の作成）	1,561	1,207	
	コラボヘルス事業経費 計	13,601	20,821	
	㊷メンタルヘルスセミナー開催のお知らせ	680	775	テーマ変更（R7は喫煙）
	㊸LINE公式アカウントを活用した情報発信（健診（指導）日程・会場などの情報を中心に配信）	2,424	2,002	
	㊹小学生の健康に対する意識（ヘルスリテラシー）の向上	880	2,096	対面用テキストは、R7予算 で、R8使用分まで調達済
	廃止 ㊺尿中塩分測定実施を契機とした減塩に対する意識向上 ―（減塩への意識付けとして、健康宣言事業所を対象に郵便型検査キットによる尿中塩分測定を実施）―	-	2,441	県で同事業を実施している ため、排塩事業へ変更
	その他の経費 計	3,984	7,314	
保健事業予算（通常枠）合計		67,891	67,876	

区分	事業名・取組概要	令和8年度 支部要求案	(参考) 令和7年度	備考
特別 枠	<p>新規【ラッピングバスによる健康課題が多い地域での意識啓発】</p> <p>評議会にて指摘のあった情報弱者への配慮として、ラッピングバスによる広報を行う。 いわき市内および相双地区の一部の路線を運航するバス会社のバス1台にて、地域の健康課題を踏まえた健診受診および保健指導促進に関するラッピングバスを運行させ、該当地域住民の健診受診等に関する意識向上を図る。</p> <p>【課題・現状】 被扶養者の特定健診受診率、特定保健指導実施率が全国平均を下回る ・特定健診受診率について市町村別にみると「いわき市」、「南相馬市」で福島県平均より特に低い状態となっている。</p> <p>令和7年度事業として次を実施した。 ・令和6年度から開始したいわき駅前での大型ビジョン広告やWeb広告に加え、シネアドを導入した。令和6年度の特定健診受診率は前年度比で4.4%上昇したが、当該地域においては、以前より経年的に課題が変わらない地域であり、継続したアプローチが必要と考えている。</p> <div data-bbox="265 789 859 1215"> </div> <div data-bbox="886 831 1415 1129"> </div> <p>ラッピングバスは特定の路線固定ではなく、様々な路線にて運用</p>	3,245	-	
	保健事業予算（特別枠） 合計	3,245	—	

要求額 内訳 【②：最重点広報経費】

本部が定めるテーマについて、全支部共通の広報媒体を使用して実施。

(千円)

事業名・取組概要	主な実施内容	時期	予算枠	令和8年度 支部要求案
①令和9年度健康保険料率の改定	新聞広告 商工会議所広報誌	令和9年3月	2,600	2,387
②健診体系の見直し (現役世代への健診事業の拡充)	新聞広告 県内全域カバー情報誌	令和9年1月～3月	2,600	2,519
③健診保険制度の意義や協会の役割等への 共感が広がる環境づくり	新聞広告 県内全域カバー情報誌	令和8年7月～9月	2,600	2,519
④電子申請・けんぽアプリの利用促進	県内全域カバー情報誌	令和8年12月	770	319
最重点広報経費 合計			8,577	7,744



これまで協会けんぽの象徴的な存在であった健康保険証が廃止となったことから、新たな「顔」となるロゴマーク、タグラインを作成しました。今後の広報において、加入者・事業主の皆様との関係をつなぐ象徴として、令和8年1月13日から使用開始します。